

令和元年（2019年） 月 日

下関市長 前田 晋太郎 様

下関市総合計画審議会  
会長 杉 浦 勝 章

## 第2次下関市総合計画後期基本計画について（答申）

平成31年2月19日付け下企第90号にて諮問のありました第2次下関市総合計画後期基本計画について、当審議会においては3つの専門部会を設置し、それぞれの立場や経験を基に慎重に審議し、検討を重ねてまいりました。

当審議会は、貴職から示された第2次下関市総合計画後期基本計画原案に対して、下記の事項を尊重していただくことを特記して、原案を概ね妥当なものとして認め、これに審議内容を整理して、修正を加えて補完し、別添のとおり答申いたします。

市長におかれましては、この答申を尊重して第2次下関市総合計画後期基本計画を策定し、計画の実現に努められるよう要望いたします。

なお、審議の過程で出された提言、意見等については、今後策定される諸計画や行財政運営の中で、十分活用されるよう希望いたします。

## 記

- 1 計画の推進や事業の実施にあたっては、広く市民の理解や協力が得られるよう努めること。
- 2 今後の社会経済情勢の変化に柔軟かつ適切に対応しながら、限られた経営資源を有効に活用し、施策を展開すること。
- 3 目標達成のため、効率的・効果的な事業推進を図るとともに、計画の適切な進行管理を行い、市民に周知すること。

平成26年11月12日

下関市長 中尾 友昭 様

下関市総合計画審議会  
会長 鷺 尾 圭 司



第2次下関市総合計画について (答申)

平成25年8月30日付け下企第904号にて諮問のありました第2次下関市総合計画について、当審議会においては、本計画が、これからの10年間のまちづくりの指針を定めるものとの認識に立ち、それぞれの立場や経験を基に慎重に審議し、検討を重ねてまいりました。

当審議会は、貴職から示された第2次下関市総合計画原案に対して、下記の事項を尊重していただくことを特記して、原案を概ね妥当なものとして認め、これに審議内容を整理して、修正を加えて補完し、別添のとおり答申いたします。

市長におかれましては、この答申を尊重して第2次下関市総合計画を策定し、計画の実現に努められるよう要望いたします。

なお、審議の過程で出された提言、意見等については、今後策定される諸計画や行財政運営の中で、十分活用されるよう希望いたします。

記

- 1 本計画の実効性を高めるため、改善点を明確化する PDCA サイクルに基づいた計画の推進を図られたい。
- 2 基本計画に基づく施策を展開する具体的な事業を掲げる実施計画の策定にあたっては、中期財政見通しや財政健全化プロジェクト等を踏まえた実効性のあるものとされたい。
- 3 公共施設の老朽化が進む中、維持・改修にかかるコスト増が見込まれており、新たな施設を整備してきたこれまでの手法を見直し、既存施設の延命化や利用形態の改善等、無駄のない効率的な整備・運営に努めること。
- 4 本市には多くの課題が山積しており、その解決のためには、市内5大学をシンクタンクとして活用するなど、新しい時代に向けた研究・検討を進めること。

平成 22 年 11 月 22 日

下関市長 中尾 友昭 様

下関市総合計画審議会  
会長 吉津 直樹



下関市総合計画後期基本計画について (答申)

平成 22 年 1 月 27 日付け下企第 69 号にて諮問のありました下関市総合計画後期基本計画について審議するため、3つの部会を設置し、それぞれの立場や経験を基に慎重に審議し、検討を重ねてきました。

当審議会は、貴職から示された下関市総合計画後期基本計画原案を、概ね妥当なものとして認め、これに審議内容を整理して、修正を加えて補完し、別添のとおり答申いたします。

市長におかれましては、この答申を尊重して下関市総合計画後期基本計画を策定するとともに、下記事項に十分配慮して計画の実現に努められるよう要望いたします。

なお、審議の過程で出された提言、意見等については、今後策定される諸計画や行財政運営の中で、十分活用されるよう希望いたします。

記

- 1 広域化した下関市を活性化するため、国内外の広域連携を進めると共に、市内の各地域の個性が発揮されるよう施策に配慮すること。
- 2 少子高齢化の進行に配慮し、日常生活レベルでのコミュニティ機能の充実や各種基盤整備に配慮すること。
- 3 市民が郷土を愛し、まちづくりに参画するためには情報の共有が重要であることから、市政に関わる様々な情報を積極的に公開するとともにその環境整備に努めること。
- 4 市民の意見が市政に反映されるように市民の情報発信の場を増やすと共に、市民がまちづくりに積極的に関与できるようなしくみづくりを検討すること。
- 5 まちづくりの目標となる目標水準、指標をできるだけ具体的に示し、その実現に鋭意取り組むこと。
- 6 審議会における審議経過を可能なかぎり市民に公開すること。